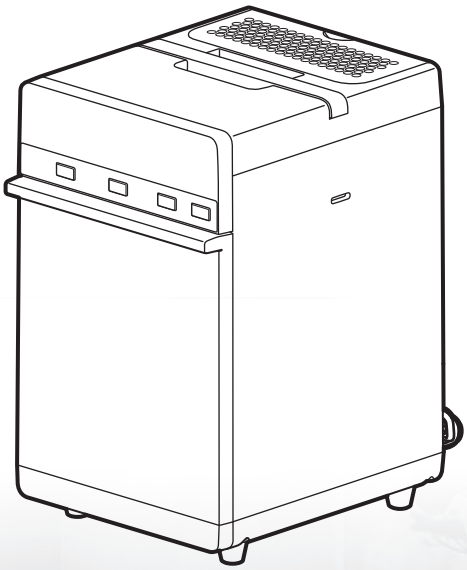


Dainichi Plus

家庭用生ごみ乾燥機

取扱説明書

ジー ディー エイ
GD-28A

＜保証書付＞
裏表紙に付いています

ご使用前には、必ず脱臭フィルターの保護シールをはがしてください。

この製品は日本国内専用ですので、日本国外では使用できません。また、アフターサービスもできません。

■製品アンケートへのご協力をお願いします
ご回答の際、ご購入機種の製造番号やお客様のお名前などの入力が必要です。
https://www.dainichi-net.co.jp/p-enquete/

ダイニチ工業　製品アンケート　検索

■部品のご注文について 22ページ
別売部品はお買い上げの販売店もしくは、「ダイニチWebShop」でもご注文ができます。
https://webshop.dainichi-net.co.jp/

ダイニチWebShop　検索

※通信料などはお客様のご負担となります。

＜もくじ＞

お使いになる前に
特徴 …… 2
安全のために守っていただきたいこと …… 2
各部のなまえ …… 5
設置 …… 7
運転前の準備 …… 8

正しい使い方
生ごみを入れましょう …… 10
生ごみを乾燥処理しましょう …… 12
乾燥処理した生ごみを取り出しましょう …… 14

長くお使いいただくために
日常の点検、お手入れのしかた …… 16
定期点検のおすすめ …… 18
保管と廃棄のしかた …… 19
故障かな？と思ったら …… 20
部品のご注文のしかた …… 22
製品仕様 …… 22
保証とアフターサービス …… 23

保証書 …… 裏表紙

お買い上げいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになったあとは、ご使用になる方がいつでも取り出せる場所に、大切に保管してください。
裏表紙の保証書は、「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめください。

特徴

この家庭用生ごみ乾燥機は、お客様の使用用途にあわせて便利にお使いいただけます。
生ごみ投入用の容器は、ポリ袋ホルダーとバスケットからお選びいただけます。
運転モードも使用シーンにあわせてお選びいただけます。
さらに予約運転機能も備え、お客様の生活に沿った製品となっております。

安全のために守っていただきたいこと

お使いになる方や他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐため、必ずお守りいただくことを説明しています。

誤った取り扱いをしたときに生じる危険とその程度を、次の区分で説明しています。

⚠ 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡、重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

本文中のマークは、次の意味を表します。

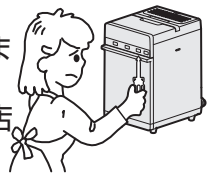
	このマークは、してはいけない「禁止」を表しています。
	このマークは、必ず実行していただく「指示」を表しています。

⚠ 警告（WARNING）

分解修理・改造の禁止

分解禁止

故障・破損したら、使用しないでください。また、お客様自身による分解・修理・改造はしないでください。
感電や火災の原因になります。
修理はお買い上げの販売店にご相談ください。23ページ



本体内に異物を入れない

禁 止

可燃物や針金などの異物を入れないでください。
火災・感電・けがの原因になります。

異常・故障時は運転を停止して電源プラグを抜く

プラグを抜く

水漏れ、焦げくさい臭い、電源コードを動かすと通電したりしなかったりするなど異常や故障と思われるときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。
火災・感電・けがの原因になります。23ページ

交流100V以外での使用やタコ足配線をしない

禁 止

タコ足配線などで定格を超えると発熱による火災の原因となります。

油等を含んだ紙類や布類、油類、石油類、アルコール類、粉状のもの、火薬・薬品類、マッチ・ライターなどは絶対に投入しない

禁 止

発火・火災・爆発の原因になります。

本体を屋外に置かない

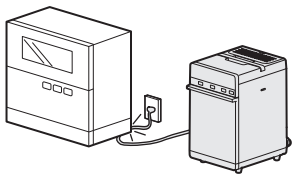
禁 止

感電・ショート・故障等の原因になります。

⚠警告(WARNING)

電源コードを傷めない

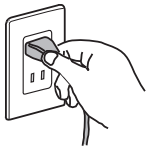
電源コードに無理な力を加えたり、重い物をのせないでください。
また、束ねたまま使用しないでください。
火災や感電の原因になります。



禁 止

電源プラグは確実に差し込む

電源プラグはコンセントに根元まで確実に差し込み、傷んだプラグやゆるんだコンセントは使用しないでください。
感電や発熱による火災の原因になります。



必ず行う

お手入れするときは電源プラグを抜く

感電やけがの原因になります。

プラグを抜く

電源コードの交換は製造業者が行う

電源コードが破損した場合、電源コードの交換は危険を防止するために、製造業者もしくはその代理店または同等の有資格者によって行わなければなりません。
修理や交換はお買い上げの販売店にご相談ください。23ページ

必ず行う

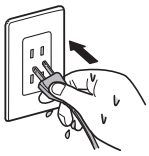
お手入れに塩素系・酸性タイプの洗剤は使用しない

有毒ガスが発生し、健康を害する原因になります。

禁 止

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししない

感電やけがの原因になります。



ぬれ手禁止

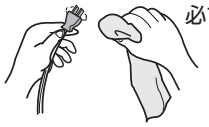
運転中は庫内周辺に触れない

やけど・けが・感電の原因になります。

接触禁止

電源プラグのお手入れをする

ときどきは電源プラグを抜き、ほこりなどを除去してください。
ほこりがたまると湿気などで絶縁不良となり、火災の原因になります。



必ず行う

本体や部品で遊ばせない

この機器の上に乗ったり、遊ぶことがないように、子どもを監視することが望ましい。
やけど・けが・感電の原因になります。
また、子どもがポリ袋を頭からかぶって遊ぶことがないようにしてください。窒息の原因になります。

禁 止

乳幼児や身動きできない方(病気やけが)は単独で使用しない

この機器は、安全に責任を負う人の監視または指示がない限り、補助を必要とする人(子どもを含む)が単独で使用することを意図していません。
責任者の監督・指導のもと、安全にご使用ください。
やけど・けが・感電の原因になります。

禁 止

スプレー缶などを本体の近くに置かない

スプレー缶やカセットこんろ用ボンベなどを本体の近くに放置しないでください。
熱で缶の圧力が上がり、爆発し、危険です。

禁 止

⚠警告(WARNING)

水に浸けたり、水などをかけたりしない

水ぬれ禁止

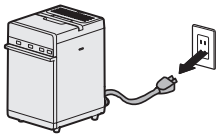
本体を水に浸けたり、水やコーヒー、ジュースなどの液体をかけたりしないでください。
水などの液体が本体内部に流れ込むと、故障・漏電・火災の原因になります。
水に浸けたり、水などの液体をかけてしまったときはご使用を中止し、お買い上げの販売店にご相談ください。23ページ

⚠注意(CAUTION)

長期間使用しないときは、電源プラグを抜く

プラグを抜く

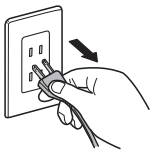
けがややけど、絶縁劣化による感電や、漏電火災の原因になります。



電源プラグを抜くときは、電源プラグを持って抜く

必ず行う

電源コードを持たずに、必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
火災や感電の原因になります。



不安定な場所に置いたり、傾けて使用しない

禁 止

トレイに水が入った状態で転倒したときは電源プラグを抜き、水平な場所に設置し、水をふいて十分に乾かしてから、電源プラグを差し直してください。
火災や感電の原因になります。

運転中は本体の扉を開けない

禁 止

乾燥処理物が飛散し、吸入する可能性があります。健康に悪影響を及ぼす場合があります。
庫内および乾燥処理物が高温となっているので、やけどの原因になります。

本体下部のすきまに電源コードや物を差し込まない

禁 止

本体下部のすきまに電源コードのあまった部分や小さな物を差し込んだり、本体の下に敷き物を敷いたりしないでください。
物やほこりなどで本体底面にある吸気口がふさがれるため、変形・故障・火災の原因になります。

排気口をふさがない

禁 止

排気口をふさぐと変形・故障・火災の原因になります。

脱臭フィルター交換時、粉じんの吸入に注意する

必ず行う

脱臭フィルターを交換する際に、粉じんが出る場合があります。フィルターに顔を近づけすぎると、粉じんを吸入する可能性があります。
粉じんを吸入すると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

本体の扉が開いた状態で、扉の上に物をのせない

禁 止

本体が落下して破損し、けがの原因になります。

脱臭フィルターの中身(活性炭)は食べない

禁 止

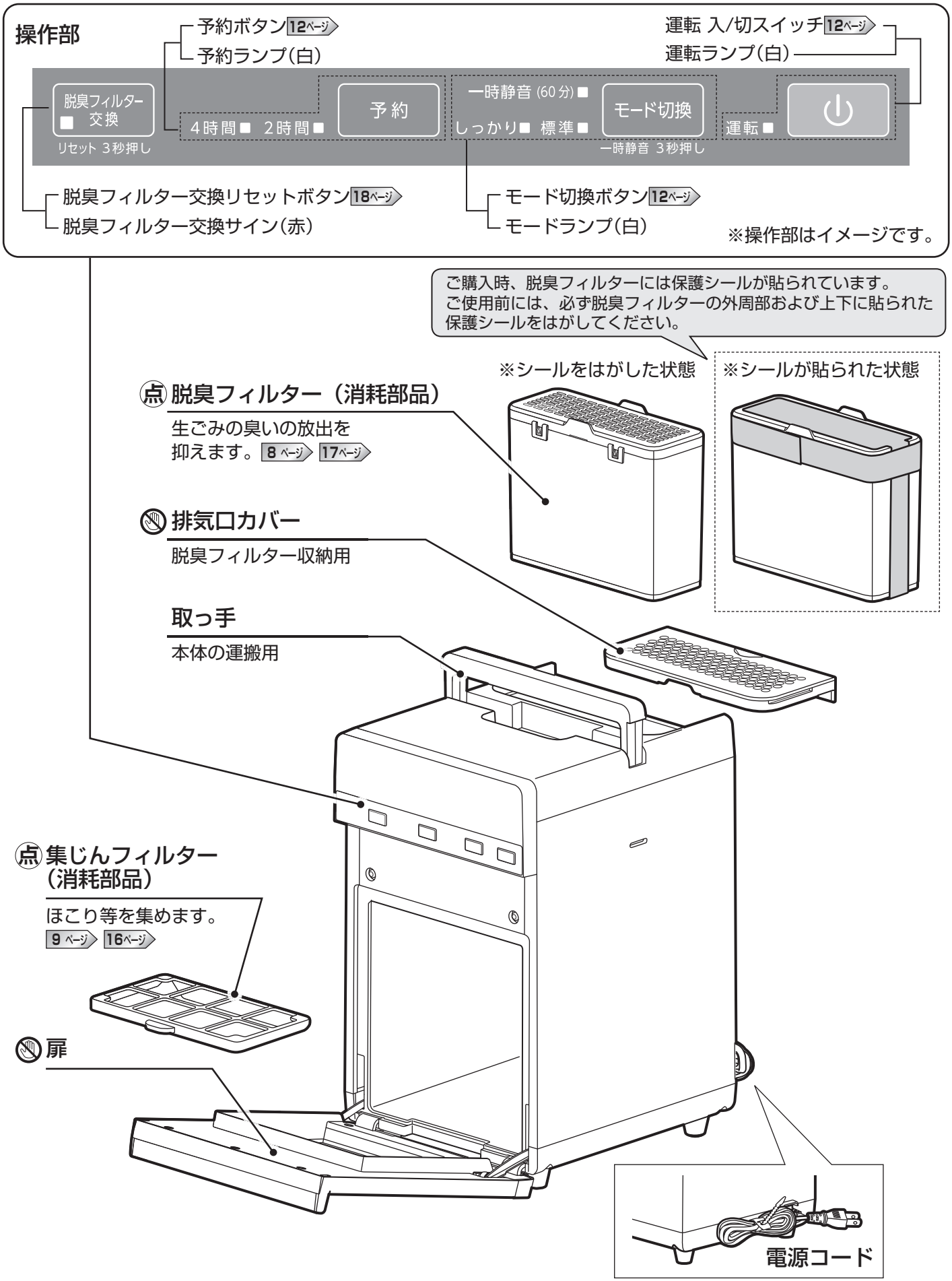
活性炭を食べると、健康に悪影響を及ぼす場合があります。

各部のなまえ

※外観図に表記されている部品は最初から全て付属しています。

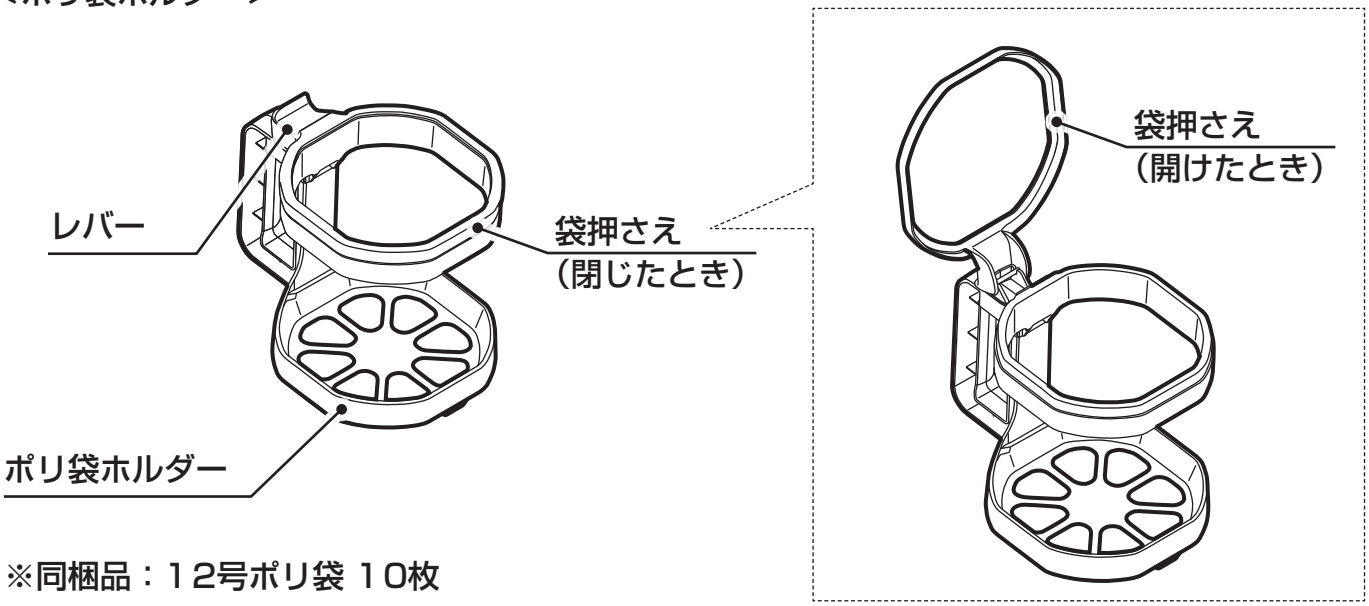
外観図

点＝点検・手入れが必要な部分　　＝運転中高温になる部分（ご注意ください）



生ごみを投入する部品

＜ポリ袋ホルダー＞



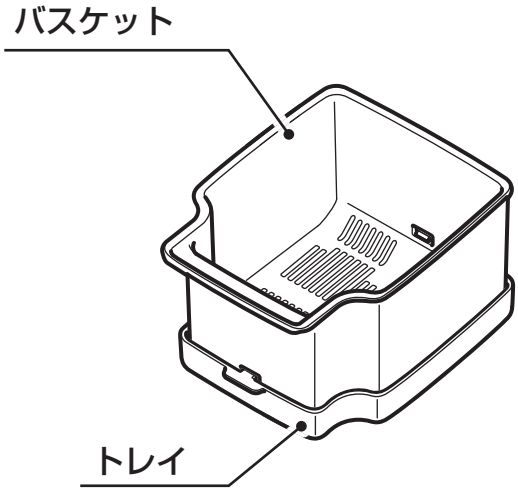
※同梱品：12号ポリ袋 10枚

メモ

＜ポリ袋ホルダーについて＞

○取り付けたポリ袋に生ごみをため、本体の庫内にポリ袋ホルダーごと直接格納することで、そのまま乾燥できます。従来の生ごみ乾燥機のようにバスケットに移し替える手間が省けます。
○ポリ袋ホルダーを使用した場合は、乾燥した生ごみをポリ袋ごと捨てられます。ごみ捨ての手間が省け、ポリ袋の口を縛ることで臭い漏れも抑えられます。
○ポリ袋ホルダーに取り付けたポリ袋に生ごみをためることで、ポリ袋ホルダーが汚れず、衛生的にご利用いただけます。お手入れの頻度も減らせます。

＜バスケット＞



メモ

＜バスケットについて＞

○三角コーナー代わりにシンクに設置して生ごみをため、本体の庫内にバスケットごと直接格納することで、そのまま乾燥できます。
○バスケットに生ごみを投入する際は、バスケット本体からトレイを取り外した状態でご使用ください。
○バスケットを本体の庫内に格納する際は、バスケットにトレイを取り付けた状態で入れてください。トレイは、バスケット底面のスリットから垂れてくる水受けとして機能します。床や本体庫内が水で濡れるのを防ぎます。

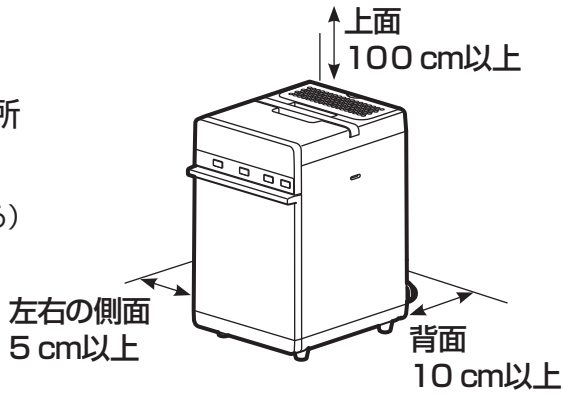
設置

本体の設置場所を決めましょう。

1 本体を設置する

次の要件を満たすところに設置してください。

□本体(電源コードを含む)に、水がかからない場所
□設置した際に、本体にガタつきがなく、水平で安定している場所
□子どもやペットの手の届かない場所
□落下のおそれのない場所
□壁などから図に示す間隔を確保できる場所
□本体上面をさえぎるものがない場所
（タオルなどが排気口をふさがないように設置する）



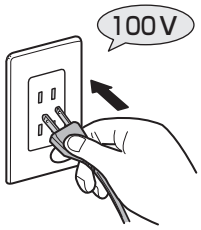
※屋外には設置しないでください。

移動するとき

○必ず庫内からポリ袋ホルダーまたはバスケットを取り出し、取っ手を持ち、傾けないように静かに運んでください。

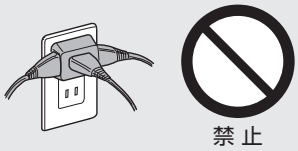
2 電源コードを接続する

電源プラグをコンセント(100V)に確実に差し込む。



お守りください

○200V電源には絶対に差し込まないでください。
火災・感電・故障の原因になります。
○交流100Vのコンセントを使用し、タコ足配線をしないでください。
定格を超えると、発熱による火災の原因になります。



運転前の準備

1 フィルターを取り付ける

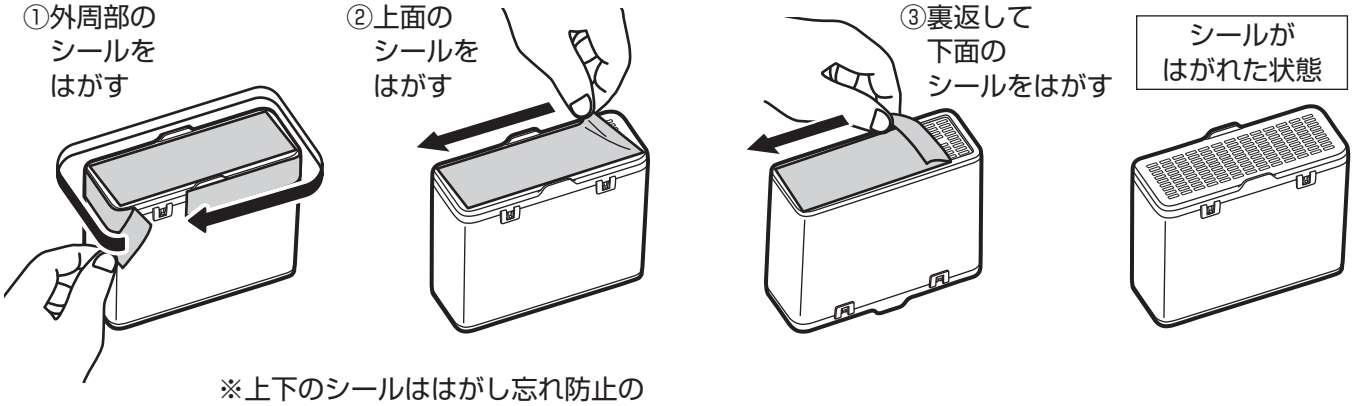
お守りください

○ご使用前に、保護シールは必ずはがしてください。はがさずに使用すると、故障の原因になります。
○装着、交換、廃棄作業時、粉末状の脱臭剤がこぼれ、粉じんを吸入するおそれがあります。特に、新品の脱臭フィルターは粉じんがこぼれやすいので、作業はマスクを着けるなど注意して行ってください。
○屋外やごみ箱の上で作業してください。
○粉じんにより手や衣類、周囲を汚すおそれがあるので注意してください。

脱臭フィルターの取り付け

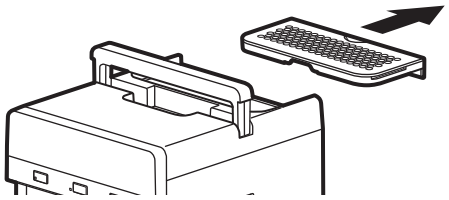
1 脱臭フィルターの保護シールをはがす。

○保護シールは、脱臭フィルター外周部および上下に貼付されています。
外周部→上面→下面の順に、矢印に沿って最後まではがしてください。

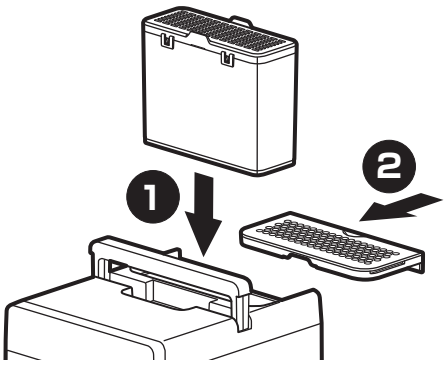


※上下のシールははがし忘れ防止のためにつながっています。

2 排気口カバーを後方へスライドさせて外す。



3 脱臭フィルターを取り付け、排気口カバーを元の位置に取り付ける。



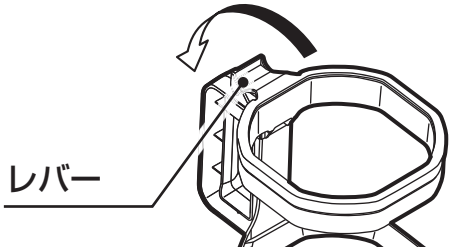
集じんフィルターの取り付け

扉を開け、本体庫内の上部に集じんフィルターが取り付けられていることを確認する。16ページ

2 ポリ袋ホルダーまたはバスケットを準備する

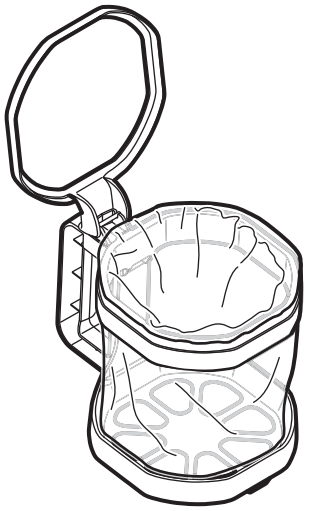
ポリ袋ホルダーの使い方

1 レバーに指を掛けて袋押さえを開ける。



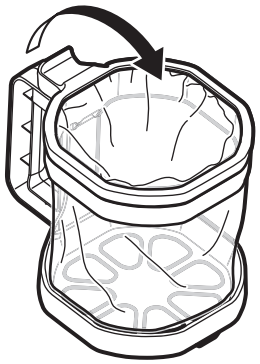
2 ポリ袋ホルダーのリング状の外周部分に、ポリ袋を引っ掛ける。

推奨ポリ袋サイズ：
12号サイズ(230 mm×340 mm)
○市販のポリ袋をご使用いただけます。



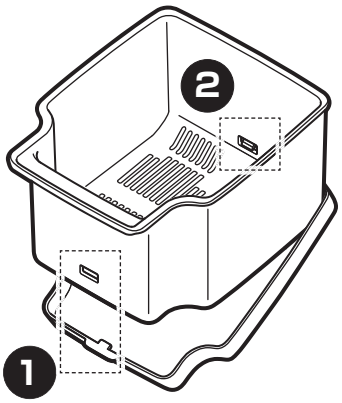
※ポリ袋が外周部分に引っ掛かっていないと、乾燥が不十分になる場合があります。

3 袋押さえを閉じる。



バスケットの使い方

1 トレイ手前側の突起を、バスケット手前側の穴から外す。

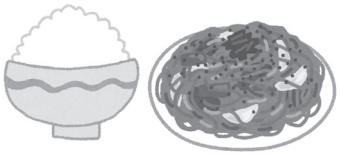


2 次に、トレイ奥側の突起を、バスケット奥側の穴から抜き、バスケットからトレイを取り外す。

生ごみを入れましょう

1 投入できるごみか確認する

◎【投入可能】乾燥しやすいもの



ご飯・麺類

小さく切られた
野菜・果物の皮

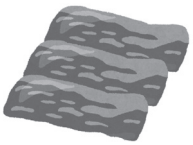
野菜くず・果物くず
（一般的に人が食べられる食材）

△【投入可能】乾燥しにくいもの

お菓子・果物など
糖分を多く含むもの

カレー、シチュー
などペースト状
のもの

小さく
切られていない
野菜



肉類・魚類
揚げ物などの油分
を多く含むもの

×【投入不可】入れてはいけないもの

⚠ 警告（WARNING）

投入不可のものは、絶対に投入しない

これらのものは、絶対に投入しないでください。死亡を含めた重大事故（発火、火災、爆発など）につながるおそれがあります。

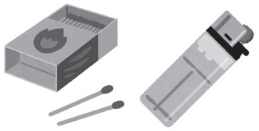
禁 止

油等を含んだ
キッチンペーパーや
ティッシュ、布類

粉状のもの

油類、石油類
アルコール類

火薬・薬品類

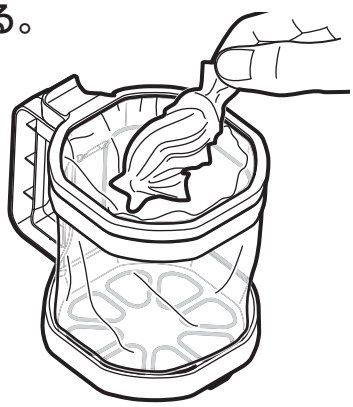


マッチ・ライター

2 生ごみを投入する

ポリ袋ホルダーを使う場合

ポリ袋ホルダーにポリ袋を取り付けた状態で、生ごみを投入する。

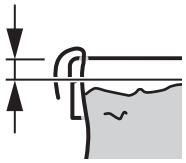


お守りください

○つまようじや魚の骨など、鋭利なごみの先端がポリ袋に触れないようにしてください。ポリ袋が破れる原因になります。

生ごみの投入量について

○ポリ袋ホルダーおよびバスケットの高さの擦り切り以上には入れないでください。



上手な使い方

○大きいごみは3 cm以下に細切れにすることで、投入量を増やすことができたり、乾燥効率をより高くすることができます。

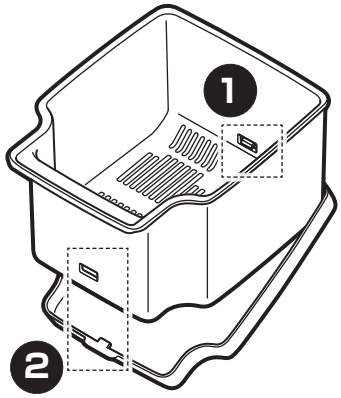
バスケットを使う場合

1 バスケットに生ごみを投入する。

2 本体格納時には、バスケットの水を十分に切り、バスケットにトレイを取り付ける。

○トレイ奥側の突起を、バスケット奥側の穴に差し込みます。

○次に、トレイ手前側の突起を、バスケット手前側の穴にはめ込みます。

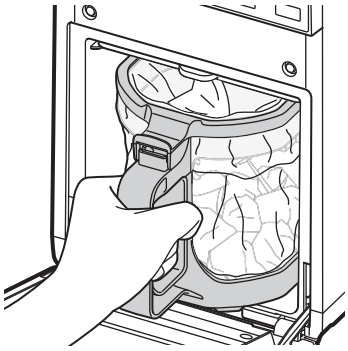


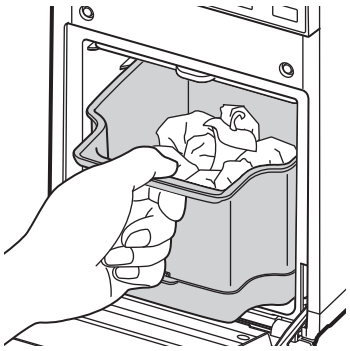
お守りください

○庫内への運搬時の水垂れ防止のため、トレイの取り付けはシンク内で行ってください。

3 本体の庫内に格納する

ポリ袋ホルダーまたはバスケットの格納後、扉は確実に閉めてください。

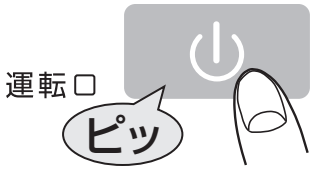




生ごみを乾燥処理しましょう

本体の庫内に生ごみを入れたら(11ページ)、下記手順で運転をはじめましょう。

1 運転 入/切スイッチを押して、電源を入れる



運転ランプ(運転□)が点灯し、モードランプ(標準□ またはしっかり□)が点滅します。

●運転 入/切スイッチを押すと、運転モード選択前でも10秒後に点滅している運転モードに設定され、乾燥運転が開始されます。

2 お好みの運転モードを選ぶ

電源を入れた後、10秒以内にモード切換ボタンを押すと、運転モードが切り換わります。

●一度設定すると、運転を停止しても前の設定を記憶しています。
●乾燥運転中、予約運転中は、標準・しっかりモードには変更できません。

運転モード	モードランプ	動作の概要	運転音
標準	標準ランプ (標準□) 白色に点灯	生ごみ処理時間と動作音のバランスの取れた、標準的な運転モードです。	約 36 dB 22ページ
しっかり	しっかりランプ (しっかり□) 白色に点灯	標準モードよりもしっかりと乾燥させる運転モードです。標準モードでは乾燥が不十分な場合に適しています。	

※一時静音モードについては、「一時静音モードについて」をご参照ください。13ページ
※モードランプは、モード選択中に点滅し、モード設定後は点灯します。

予約運転機能について

指定時間(2 時間または 4 時間)経過後に運転を開始する「予約運転」を設定することができます。

1 運転モード選択後、10秒以内に予約ボタンを押して、予約運転の時間を決める

○予約ボタンを押すたびに、設定が切り換わります。

※予約ランプは、予約時間選択中に点滅し、予約時間確定後は点灯します。

予約時間	予約ランプ	運転
2時間	「2時間」ランプが点灯	2時間後に運転を開始します。
4時間	「4時間」ランプが点灯	4時間後に運転を開始します。
オフ	消灯	運転 入/切スイッチを押してから10秒後に運転を開始します。

2 設定から10秒後に予約時間が確定し、指定時間経過後に運転を開始します。

3 運転を開始する

運転 入/切スイッチおよびモード切換ボタンを押してから10秒後に、乾燥運転が開始されます。

●10秒経過前に再度、運転 入/切スイッチを押すと、機器停止状態に戻り、乾燥運転が開始されません。

一時静音モードについて

乾燥運転中の動作音を一時的に抑えることができる「一時静音モード」を設定することができます。
※一時静音モードでは、動作音を低減するかわりに、処理時間がかかる場合があります。

運転モード	モードランプ	動作の概要	運転音
一時静音	一時静音ランプ (一時静音 (60分)□) 白色に点灯	生ごみ処理時に発生する動作音を一時的に抑えたモードです。 標準およびしっかりの各運転モードでご使用いただけます。例えば、就寝前は運転音が気になるため静かに運転させ、就寝中は通常どおり運転させる、といった使い方が可能です。	約 32 dB 22ページ

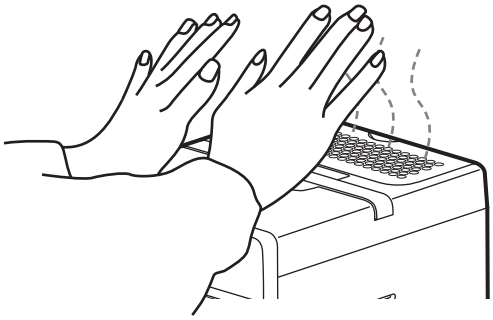
1 モード切換ボタンを約3秒間長押しします。

○一時静音モードに設定が切り換わります。

2 一時静音モードへの切り換えから1時間後、一時静音モードが自動的に終了します。

○モード切換ボタンを約3秒長押しすることでも、一時静音モードを終了できます。

4 運転の状態を確認する(新品の脱臭フィルター取り付け時)



運転開始後、しばらくしてから(10分後を目安に)排気口から温かい微風が出ていることを確認します。

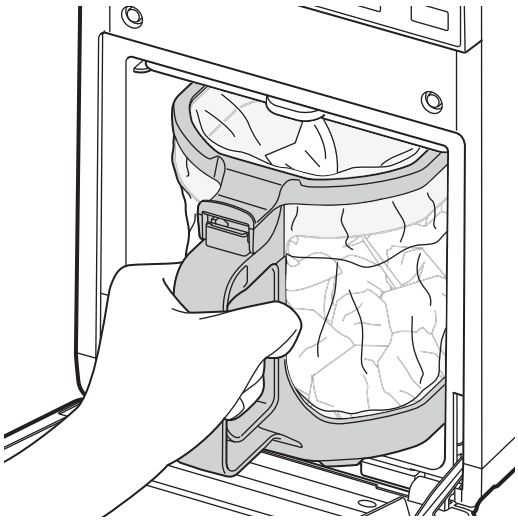
メモ

○風が出ていない場合は、脱臭フィルターの保護シールがはがされているか、確認してください。

乾燥処理した生ごみを取り出しましょう

ポリ袋ホルダーの場合

1 ポリ袋ホルダーを取り出す

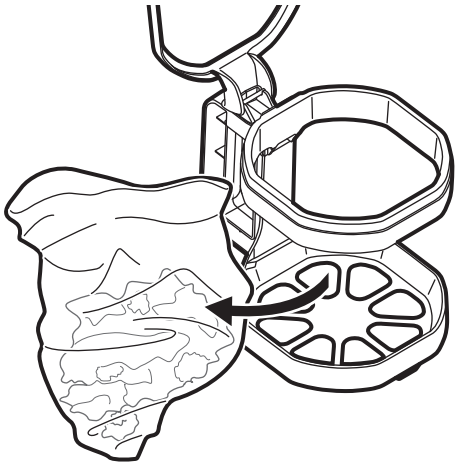


運転ランプおよびモードランプが消灯し、運転が停止していることを確認したら、扉を開けてポリ袋ホルダーを取り出します。

お守りください

○運転中は、扉を開けたり庫内に手を入れたりしないでください。機器の内部が熱くなっているため、庫内に触れるとやけどをするおそれがあります。
○乾燥運転終了後に本体内の冷却運転を行います。（運転中は運転ランプが点滅）
冷却運転は、運転 入/切スイッチによる途中停止ができません。また、電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。故障の原因になります。

2 ポリ袋を取り外す



ポリ袋ホルダーの袋押さえを開け、ポリ袋ごと生ごみを取り出します。

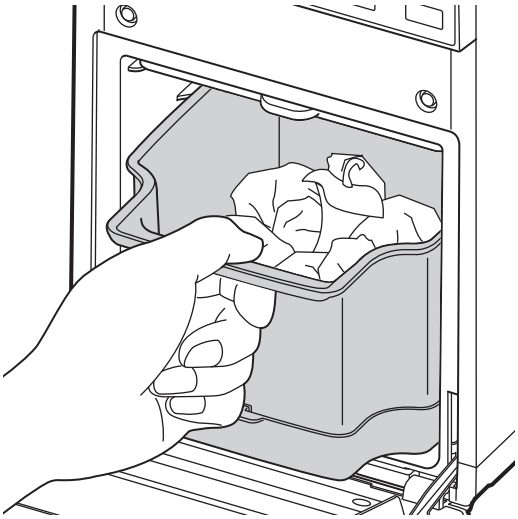
生ごみは、ポリ袋ごとごみ箱へ捨ててください。

お守りください

○生ごみの入ったポリ袋は、握ったり乱雑に扱ったりしないでください。生ごみは乾燥しているため、けがをしたり、ポリ袋が破れて中身が飛散したりするおそれがあります。

バスケットの場合

1 バスケットを取り出す

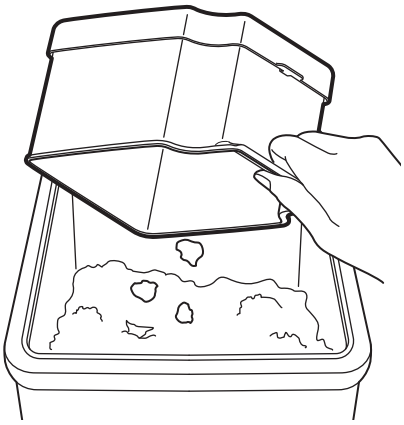


運転ランプおよびモードランプが消灯し、運転が停止していることを確認したら、扉を開けてバスケットを取り出します。

お守りください

○運転中は、扉を開けたり庫内に手を入れたりしないでください。機器の内部が熱くなっているため、庫内に触れるとやけどをするおそれがあります。
○乾燥運転終了後に本体内の冷却運転を行います。（運転中は運転ランプが点滅）
冷却運転は、運転 入/切スイッチによる途中停止ができません。また、電源プラグをコンセントから抜いて運転を停止しないでください。故障の原因になります。

2 バスケット内の生ごみを捨てる

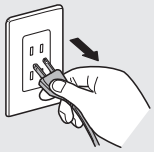


生ごみは、ごみ箱へ捨ててください。

日常の点検、お手入れのしかた

お守りください

○点検・お手入れを行うときは、必ず運転を停止させ、本体が冷えてから電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。また、分解はしないでください。
感電・発火・故障の原因になります。
○お手入れせずに使用を続けると、雑菌やカビが繁殖し悪臭が発生したりする原因になります。定期的にお手入れを行ってください。



本体・庫内のお手入れ

ほこりや汚れをふき取る

○水で濡らして軽くしぼった、柔らかい布などで軽く水拭きしてください。
汚れが落ちにくいときは、水でうすめた中性洗剤をしみ込ませた布でふいたあと、洗剤が残らないように固く絞った布でふき取り、からぶきしてください。
○変質や変色防止のため、ベンジン、シンナー、アルコール、アルカリ洗剤、漂白剤などは使用しないでください。

ポリ袋ホルダー・バスケットのお手入れ

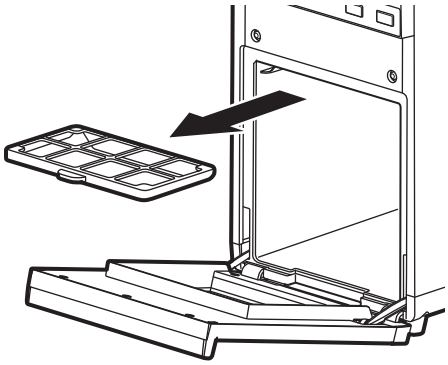
汚れを水洗いする

○柔らかい布やスポンジなどで、軽く水洗いしてください。
汚れが落ちにくいときは、水でうすめた中性洗剤で洗浄してください。

集じんフィルターのお手入れ

週に1回程度、汚れの状態を確認し、フィルターにたまったほこり等を取り除いてください。

1 扉を開けて、集じんフィルターを取り出す



運転が停止していることを確認し、扉を開けて集じんフィルターを取り出します。

※集じんフィルターは、本体庫内の上部にある取り付けガイドに沿って取り付けられています。

お守りください

○運転中は、扉を開けたり庫内に手を入れたりしないでください。機器の内部が熱くなっているため、庫内に触れるとやけどをするおそれがあります。

2 たまったほこり等を取り除く

付着している汚れは、水で洗い流してください。

●汚れが落ちない場合は、柔らかい布やスポンジなどで、軽く水洗いしてください。
●それでも汚れが落ちにくい場合は、水で薄めた中性洗剤を使用してください。

お守りください

○アルコールは部品損傷のおそれがあるため、使用しないでください。
○金たわしやナイロンブラシ等は、フィルターが破れるおそれがあるため、使用しないでください。

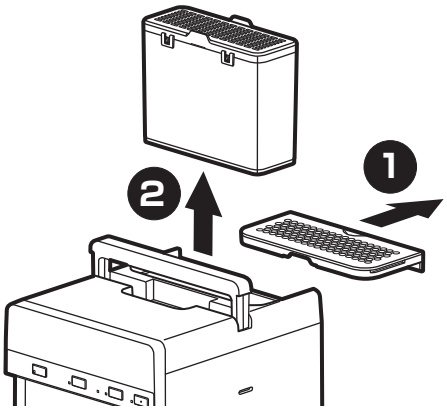
3 集じんフィルターを取り付ける

本体庫内上部の取り付けガイドに沿ってスライドさせて、
必ず集じんフィルターを取り付けてください。

脱臭フィルターの交換

臭いが気になり始めたら、脱臭フィルターを早めに交換してください。
また、脱臭フィルター交換サインが点滅したら、脱臭フィルターを交換してください。

1 排気口カバーを外し、脱臭フィルターを取り出す



排気口カバーを後方へスライドさせて
外し、脱臭フィルターを取り出します。

2 新しい脱臭フィルターの保護シールをはがす

外周部および上下の保護シールをはがします。8ページ

3 新しい脱臭フィルターを取り付ける

新しい脱臭フィルターを取り付け、排気口カバーを取り付けます。

4 脱臭フィルター交換サインのリセット操作を行う

脱臭フィルター交換リセットボタンを3秒長押しして、脱臭フィルター交換サイン(赤色)をリセットします。

定期点検のおすすめ

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要となります。定期的にお買い上げの販売店などに点検依頼（有料）をおすすめします。

愛情点検	長年ご使用の生ごみ乾燥機の点検を！				
	こんな症状はありませんか	・電源コードを動かすと通電したり、しなかったりする。 ・電源プラグや電源コードが異常に熱い。 ・本体が異常に熱かったり、焦げくさい臭いがする。 ・運転中に異常な音や振動がする。 ・その他の異常や故障がある。	▶	ご使用中止	事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店に点検・修理をご相談ください。

保管と廃棄のしかた

長期間使用しないとき

1 本体のお手入れを行う

「日常の点検、お手入れのしかた」16ページに従い、
各部のお手入れを行ってください。

2 購入時の包装箱、ポリ袋などに入れて保管する

○本体を傾けたり、横倒しにしたりしないでください。
○湿気の少ないところに保管してください。

廃棄するとき

本体・消耗部品を廃棄するときは、各自治体の指示に従ってください。

脱臭フィルターの廃棄について

脱臭フィルターに使用されている素材や廃棄方法をご確認ください。
脱臭フィルターの中身を取り出すときは、ふたのロックを外して取り出してください。
中身が飛び散ったり、粉じんが出たりしますので、作業は屋外などで行い、マスクを着け、袋などで脱臭フィルターを覆って行ってください。

名称	素材	廃棄方法
容器・ふた	プラスチック(PP)	「プラスチック」ごみとして処理してください。
パッキン	プラスチック(ポリオレフィン)	
保護シール(上・下面)	プラスチック(ポリ塩化ビニル)	
保護シール(外周部)	プラスチック(ポリエステル)	
脱臭剤	活性炭	各自治体の区分に従ってください。

集じんフィルターの廃棄について

名称	素材	廃棄方法
集じんフィルター	プラスチック(PP)、ガラス繊維	各自治体の区分に従ってください。

故障かな?と思ったら

修理を依頼する前に

次の症状は故障ではありません。修理を依頼される前にもう一度ご確認ください。

症　状	原　因	処置方法
脱臭フィルター交換ランプが点滅している	脱臭フィルターの交換期間が経過している。	脱臭フィルターを交換し、脱臭フィルター交換サインをリセットする。
運転しない	電源プラグが抜けている。	電源プラグをコンセントに確実に差し込む。
	予約運転が設定されている。	予約運転を解除する。 (再度運転 入/切スイッチを押す)
処理時間が長い	運転モードが一時静音モードになっている。	一時静音モードでは、動作音を低減するかわりに、処理時間がかかる場合があります。
	扉が開いている。	扉を閉めて運転する。
	生ごみを入れすぎている。	容器(ポリ袋ホルダーやバスケット)に擦り切り以上の生ごみを入れない。11ページ
	脱臭フィルターの保護シールを貼ったまま運転している。	保護シールをはがす。
	付属品以外の容器で運転している。	付属のポリ袋ホルダー・バスケットを使用する。
	気温の高い場所で運転している。	気温が高くなるほど、処理時間がかかります。22ページ
	気温の低い場所で運転している。	気温が低くなるほど、処理時間がかかります。22ページ
	排気口がタオルなどでふさがれている。	排気口をふさがないようにする。
異音がする	集じんフィルターが目詰まりしている。	集じんフィルターのお手入れをする。16ページ
	扉が開いている。	扉を閉めて運転する。
	生ごみを入れすぎている。	容器(ポリ袋ホルダーやバスケット)に擦り切り以上の生ごみを入れない。11ページ
臭いが強くなった	魚介類や腐った生ごみが多く入っている。	生ごみの量を減らして運転する。11ページ
	集じんフィルターが目詰まりしている。	集じんフィルターのお手入れをする。16ページ
	扉が開いている。	扉を閉めて運転する。
	脱臭フィルターの保護シールをはがさずに運転している。	保護シールをはがす。
	付属品以外の容器を使用している。	付属のポリ袋ホルダー・バスケットを使用する。
	脱臭フィルターが取り付けられていない。	脱臭フィルターを取り付ける。8ページ
	排気口がタオルなどでふさがれている。	排気口がふさがれないようにする。
	純正品以外の脱臭フィルターを使用している。	純正品の脱臭フィルターを使用する。

異常の原因と処置のしかた

次のようなエラー表示が現れたときは、適切な処置を行ってください。

表示部(エラー表示)	原因(安全装置)	処置方法
「標準」「しっかり」「2時間」ランプが点滅 一時静音 (60分) 4時間 2時間 しっかり 標準	前回の運転が停電で停止した。	運転 入/切スイッチを押して、エラー表示をリセットしてください。
「標準」「しっかり」「一時静音」ランプが点滅、ブザー音が鳴る 一時静音 (60分) 4時間 2時間 しっかり 標準	転倒スイッチが作動した。	水平な場所に設置してください。 運転 入/切スイッチを押して、エラー表示をリセットしてください。
「標準」「しっかり」「一時静音」「2時間」ランプが点滅 一時静音 (60分) 4時間 2時間 しっかり 標準	室温の異常。 (40℃を超える)	運転 入/切スイッチを押して、エラー表示をリセットしてください。 近くで温風機器などが使用されていないかご確認のうえ、使用環境温度範囲内で使用してください。22ページ
「標準」「しっかり」「4時間」ランプが点滅 一時静音 (60分) 4時間 2時間 しっかり 標準	温風温度の高温異常。	運転 入/切スイッチを押して、エラー表示をリセットしてください。 ごみが容器の擦り切り以上入っていないか、ご確認ください。
上記組合せ以外のランプが点滅している	点検・修理が必要な故障です。	電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げの販売店にご相談ください。23ページ

処置を行なっても直らないとき

故障が考えられますので、お買い上げの販売店にご相談ください。23ページ
故障したまま使用を続けると、予想しない事故が発生するおそれがあります。

部品のご注文のしかた

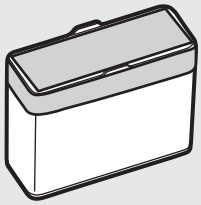
次の別売部品は、お買い上げの販売店にご注文ください。その際は、型名・部品名・商品コードをはっきりとお伝えください。また、弊社ホームページでもご注文ができます。表紙

別売部品

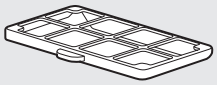
この部品は本生ごみ乾燥機用です。他の機器では使用しないでください。
また、仕様は予告なく変更することがあります。
その他の部品についてはお買い上げの販売店にご相談ください。

※純正品をご使用ください。
生ごみ乾燥機本来の性能を発揮できない場合があります。

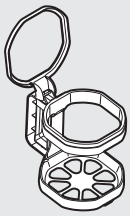
＜消耗部品＞



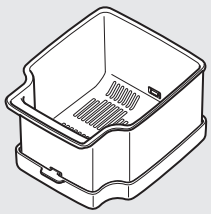
【脱臭フィルター】
商品コード：GD00002



【集じんフィルター】
商品コード：GD00003



【ポリ袋ホルダー】
商品コード：GD00004



【バスケット】
商品コード：GD00005

製品仕様

型名		GD-28A	
電源電圧及び周波数		AC100 V　50/60 Hz	
定格消費電力		170/170 W	
使用環境温度		0 ～ 40 ℃	
乾燥処理容量		ポリ袋ホルダー　2.0 L（規格12号袋使用時）	
		バスケット　2.8 L	
最大処理量		1 kg	
標準処理時間※1	運転モード／処理量	標準モード	しっかりモード
	300 g	約 4.5 時間	約 6.5 時間
	500 g	約 5.5 時間	約 7.5 時間
	700 g	約 6.0 時間	約 8.0 時間
	1000 g	約 9.0 時間	約 11.0 時間
最大運転時間		14 時間	
運転音※2		36 dB / 32 dB（一時静音時）	
外形寸法(高さ×幅×奥行)		359 mm × 216 mm × 254 mm（突起部を除く）	
質量		約4.5 kg（バスケット搭載時）	
電源コードの長さ		1.6 m	
安全装置		転倒自動停止装置、室温異常自動停止装置、停電安全装置、過熱防止装置	
IP保護等級		IPX1（水の浸入に対する保護）	
同梱品		12号ポリ袋　10 枚	

※1 室温25℃の環境において、当社試験生ごみで運転した場合。
※2 運転初期(10分程度)は運転音が大きくなる場合があります。

保証とアフターサービス

使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談・別売部品の購入などは、お買い上げの販売店にご相談ください。

保証について

◆保証書（裏表紙に付いています） 裏表紙

○保証書は、必ず「お買い上げ日、製造番号、販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受け取りください。
○販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要になりますので、一緒に保管してください。
○内容をよくお読みのあと、大切に保管してください。

◆保証期間

保証期間は、お買い上げ日から本体1年間です。なお、消耗部品（脱臭フィルター、集じんフィルター）の取り替えは、保証期間中でも有料となります。
他にも有料となることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品について

○補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。
○本生ごみ乾燥機の補修用性能部品は、製造打切り後6年保有しています。

修理を依頼されるときは

○「故障かな？と思ったら」に従ってお調べください。20ページ
○処置を行なっても直らないときは、ご使用を中止し、必ず電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店にご相談ください。その際は、右の事項をご連絡ください。

品　　名	：ダイニチ生ごみ乾燥機
型　　名	：本体背面に表示
お買い上げ日	：保証書に記載
故障の症状	：機器の状態など、できるだけ詳しく

◆保証期間中

修理に際しましては、保証書をご提示ください。保証書の規定に従って修理させていただきます。

◆保証期間が過ぎているとき

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料修理させていただきます。

◆修理料金

技術料+部品代などで構成されています。

お守りください

○修理などで生ごみ乾燥機を運搬するときは、必ずポリ袋ホルダーやバスケットを取り外し、トレイの水を捨ててください。
運搬の途中で水がこぼれて周囲を汚すおそれがあります。

ご相談窓口（使用方法・お手入れのしかた・修理のご相談など）

お客様ご相談窓口（通話料無料）

携帯電話、スマートフォンからもお問い合わせいただけます。

TEL 0120-468-110
FAX 0120-468-220

＜受付時間＞
9:00～12:00／13:00～17:00
（土曜・日曜・祝日は除く）

インターネットからのお問い合わせ

■パソコン・タブレット・スマートフォンからアクセス
https://www.dainichi-net.co.jp/support/

ダイニチ工業　お客様サポート　検索

※通信料などはお客様のご負担となります。

※型名（本体背面に表示）をご確認のうえ、ご連絡ください。

ダイニチ工業株式会社におけるお客様の個人情報のお取り扱いについて

1. ダイニチ工業株式会社（以下「弊社」）は、お客様の個人情報をお客様からのご相談への対応や修理及びその確認などに利用させていただき、これらの目的のためにご相談内容の記録を残すことがあります。
2. 次の場合を除き、弊社以外の第三者に個人情報を提供・開示することはありません。
   ①修理やその確認業務を委託する場合
   ②法令の定める規定に基づく場合
3. 個人情報に関しては、お問い合わせいただきました窓口にご相談ください。

家庭用生ごみ乾燥機 保証書

型名	GD-28A	製造番号	
お客様	お名前　　様		
	ご住所　〒		
	電話番号　（　　）　－		
お買い上げ日		販売店名　住所・電話番号	
年　月　日			
保証期間（お買い上げ日から）			
本体1年間			

見　本

本書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から左記期間中故障が発生したときは、本書をご提示のうえ、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

お客様へお願い

お手数ですが、お名前・ご住所・電話番号をわかりやすくご記入ください。
販売店の記載がないときは、それを証明する領収書などが必要となりますので、一緒に保管してください。

ご販売店様へ

お買い上げ日・製造番号・貴店名・住所・電話番号を必ず記入し（記入のないときは無効になります）、本書をお客様へお渡しください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベルなどの注意書に従った正常な使用状態で故障したときは、お買い上げの販売店が無料修理致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受けるときは、商品と本書をご持参、ご提示のうえ、お買い上げの販売店に依頼してください。
3. ご転居のときは、事前にお買い上げの販売店にご相談ください。
4. ご贈答品などで本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できないときは、弊社にご相談ください。
5. 保証期間内でも次のときは、有料修理になります。
   （イ）使用上の誤り、不当な修理・改造による故障や損傷
   （ロ）お買い上げ後の移動・落下などによる本体の故障や損傷、使用状況などによる本体の変形・変色
   （ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）などによる故障や損傷
   （ニ）異常電圧、指定外の電源（電圧・周波数）、ほこりなどによる故障や損傷
   （ホ）消耗部品（脱臭フィルター、集じんフィルター）の取り替え
   （ヘ）定期点検や内部清掃の費用
   （ト）一般家庭用以外（たとえば、業務用の長時間使用や車両・船舶への搭載）に使用されたときの故障や損傷
   （チ）本書の提示がないとき
   （リ）本書にお買い上げ日・お客様名・販売店名の記入のないとき、あるいは字句を書き替えられたとき。通信販売などでご購入したときは、商品の送り状・領収書などの提示がないとき
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。したがって、この保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理などについてご不明のときは、お買い上げの販売店、または弊社にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有期間について詳しくは、取扱説明書（23ページ）をご覧ください。

ダイニチ工業株式会社
〒950-1295 新潟市南区北田中780-6
お客様ご相談窓口TEL 0120-468-110
ホームページ　https://www.dainichi-net.co.jp/

GD00001
GD-28A・25・10・0,000・3